

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

<b>内容</b>
<p>オーケストラで使われる楽器を一つずつ間近で見せながら、その奏者が解説をします。楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。説明の後には短い演奏を行います。生徒たちにとって一番身近に感じられる「ピアノ」についてのコーナーも設けます。</p> <p>※吹奏楽部との共演、交流給食は無し</p> <p>打楽器奏者2名（または1名とピアノ）で音楽の重要な要素「リズム」に注目。いろいろなリズムを打楽器奏者と一緒になって体感する。また、学校にある楽器トライアングルやタンバリン、マリンバ、シロフォンをプロの奏者が使うとどんな音がするのかを聴いてもらい、自分たちが演奏するときの目標としてもらう。</p> <p>※コロナ対策として本公演と一緒に歌うコーナーを取りやめるため、指揮者の派遣を取りやめ、学校と相談の上、管楽器の扱いをどうするか、2コマを一つの内容として実施するか、ディスタンス等の確保のために一回の体験者数を減らして同一内容で2コマ実施をするか決定する。</p>

<b>タイムスケジュール（標準）</b>
2時間目 準備、3時間目、4時間目 ワークショップ（45分×2コマ） または 4時間目 準備、5時間目、6時間目 ワークショップ（45分×2コマ）

<b>派遣者数</b> ※派遣者数の内訳を御入力ください
楽器演奏者2名～3名、ピアニスト1名 司会1名 計3名～5名 ※指揮者の派遣を取りやめます。また来校者の人数を減らす等の調整をします。

<b>学校における事前指導</b>
特にありません（音楽の時間などで、教科書にオーケストラのことが掲載されていればそこを紹介しておいてもらう。インターネット上のオーケストラの楽器の動画などを視聴しておいていただく。）

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人東京交響楽団
公演団体名	東京交響楽団

演目
公演時間(90分)版 ＜第1部＞ スメタナ：歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広：「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」（ナレーション付き） モンティ：チャールダーシュ*1 ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」から第1楽章 （休憩15分） ＜第2部＞ アンダーソン：トランペット吹きの休日*2 黛敏郎：スポーツ行進曲*2 指揮者体験 ビゼー：歌劇『カルメン』より前奏曲（体験3名） 外山雄三：管弦楽のためのラブソディ （アンコール）久石譲：君をのせて（映画『天空の城ラピュタ』より） *1 コロナ対策のため、協奏曲を弦楽器に限定します *2 コロナ対策のため一緒に歌うコーナーを中止。代わりに別の曲を演奏します。
公演時間（45分）短縮版×2回公演 小室昌広：「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」（ナレーション付き） ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」から第1楽章 ★アンダーソン：トランペット吹きの休日 ★指揮者体験 ビゼー：歌劇『カルメン』より前奏曲（体験1名） 外山雄三：管弦楽のためのラブソディ （アンコール）久石譲：君をのせて（映画『天空の城ラピュタ』より） ★学校の希望にあわせてどちらかを選択してもらいます。 ※コロナ対応として、児童・生徒さんを入れ替えての2回公演に対応します

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください	
指揮者	1名
ピッコロ	×1
フルート	×2
オーボエ	×2
クラリネット	×2
ファゴット	×2
ホルン	×4
トランペット	×3
トロンボーン	×3
チューバ	×1
ティンパニ	×1
打楽器	×3
ハープ	×1
第1ヴァイオリン	×12
第2ヴァイオリン	×10
ヴィオラ	×8
チェロ	×7
コントラバス	×6
スタッフ	:13名
合計	:82名
※コロナ対策として、コンサートホールなどで開催する場合、舞台の広さによって演奏に支障のない範囲で弦楽器の人数を減らすことがあります。	

タイムスケジュール（標準）	
舞台設営・楽器搬入	9:00～11:00
会場でのリハーサル	11:00～12:30
公演	13:30～15:00（途中休憩15分）
舞台撤収・楽器搬出	15:00～16:00
退出	16:30

実施校への協力依頼人員	
特にありません	

## 演目解説

### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

#### ① 指揮者体験コーナー

指揮の仕方と役割を指揮者が解説した後、実際に生徒の代表 3 名（短縮の場合は 1 名）にタクトをもってオーケストラを指揮してもらいます。

#### ② その他

床に直接座って鑑賞する子供たちもオーケストラ全体を見渡すことができるように、生徒から見て奥に配置されている管楽器はひな壇上で演奏します。また、吹奏楽部や器楽部の共演を希望する場合には、各校吹奏楽部の部員にとって一生記憶するような「素敵な思い出」にできるよう、各学校の部活状況をお伺いした上で最高の公演にできるような指導プログラムを準備いたします。

### 児童生徒とのふれあい

- ・指揮者体験のコーナーで実際にオーケストラを指揮して演奏に参加していただく。
- ・休憩中、終演後など吹奏楽部の生徒さんと交流を持つ機会を作る。